

古川高校感想文

一年二組 三澤 雅史

今、日本の政治は国民の為のものとは言っていますが、まだまだ一部の人の私利私欲に振り回されている部分があり、直接国民の声が届いているとは思えません。今の政治を行う人が皆吉野作造のような考え方であれば、もっと、もっと政治を国民の身近なものとして感じられると思います。

一年二組 加藤 仁
歴史に名前を残す人達は皆、

古川商業高校
(現古川学園高校) 感想文

一年E組 木村 裕美

何よりも私が一番すごいなあと考えたのは博士の人柄でした。優しく、何よりも国民の事を考えていたからこそあの「民本主義」という考えを唱えられたのでしょう。その人柄は、私の心にいつまでも新鮮に残るに違いありません。私も博士のように、自分の意見をはっきり主張出来るような人になり、この二十一世紀を自分らしく輝いて生きていこうと思いました。

その時の社会情勢や背景にあまり捕らわれない自由な発想や強い意志があったのではないかと思います。今まで私はそのような人達が身近な人とはとても思うことができません。しかし今回、吉野作造記念館を見学して、日本の歴史に名を残す人が身近にいたのだと実感することができました。

(抜粋)

高校生から見た
吉野作造記念館

本年度、古川高校と古川商業高校(現古川学園高校)の一年生が授業の一環で記念館に来館しました。引率の先生のインタビューと生徒の方の感想文を一部紹介します。

一年E組 門脇 裕也

政治とは国民全体の幸福を中心に考えるものだ。そんな考えを「民本主義」と呼んだ吉野作造博士は、一生涯国全体、そして国民の事を考えてきたんだなと思った。当時の政治と言えど、一部の高層の人が幸せであれば良いという政治だったけれど、それでは絶対いい国にはならない。そして民本主義を唱えた吉野作造博士の考えのスケールの大きさに驚いた。(抜粋)

1. 小中学生の時に行ったことがある生徒もいましたが、初めて行く子がほとんどだったようです。事前に吉野作造について少し話をして行ったので興味を持って見学できたと思います。実際に観た印象の方が大きいですからね。今の子供達は目から入る情報に敏感ですから、ビデオは特に面白かったようです。展示内容も吉野作造という人物がよくわかるものだったと思います。

1. ブック型スクリーンや映像が上の壁に映し出される設備に感動していたようです。来館したことによって吉野作造の存在を知った生徒もいましたし、民主主義と民本主義の違いについて学べる良い機会になりました。郷土の偉人に触れたことによって生徒にプラスになったと思います。

2. まずは市民に分かりやすい講座をしてみたい。例えば、生い立ち編、思想編……等ジャンル

す。

2. 子供たちにとって吉野作造の功績を理解するのは難しいと思います。違う角度から身近に感じる為に、昔の写真と今の古川を照らし合わせながら吉野作造の幼少時代をたどってみては。古川のことを良く知る機会にもなりますし、子供たちには興味深いかもかもしれません。

3. 新しいものを追いかけるのも一つなのかもしれませんが、長

インタビュー

1. 来館した際の生徒の反応はどうでしたか？
2. 記念館で面白いと思う企画は？
3. 先生の考える記念館の役割とは？

と。彼の思想を通じて「人づくり」が出来れば良いと思います。「人づくり」は学校だけでは出来ません。父兄、教員、地域社会が一つの輪を作って子供を育てていかなければなりません。なんといいっても、古川学人の「路行かざれば至らず事為さざれば成らず」の精神をより多くの人たちに語り伝え、21世紀の社会に貢献する素晴らしい人間を育ててほしいと思います。



阿部 澄江教諭
英語担当



加藤 巖教諭
社会科公民担当